



第72回

がんばろう！栃木 秋季特別展 【川瀬巴水 — 栃木からの旅路 —】

川瀬巴水は、「大正新版画」を代表する版画家です。巴水は旅をしながら日本各地の風景を描き続け、生涯600点を上

回る風景版画を発表していますが、その始まりは栃木の風景でした。

巴水は東京の芝で生まれましたが、幼い頃体が弱かったので、親元を離れて毎年のように伯母のいる栃木の塩原で過ごしました。伯母夫婦や塩原の人々に大変かわいがられたといえます。

30代半ばになっても画家としてなかなか芽の出ない日々を送っていましたが、大正7年（1918）

に同門の伊東深水が発表した風景版画を見て版画に関心を持ち、巴水は最初の版画作品「塩原おかね路」を制作します。

この「おかね路」は、伯母の営んでいた塩原の土産物店からほど近い所にあります。塩釜から塩の湯へと続く道で、巴水が描いた数年前の大正4年（1915）に開通しました。塩原の老舗旅館・明賀屋の娘・カネが、

少しずつ貯めたお金で作ったといわれています。夕日を浴びて赤く燃える山々を遠くに望み、山あいの薄暗闇の中、馬をひきながら家路をたどるひとりの女性。静かな秋の夕暮れのひとときです。巴水にとってこの美しい塩原の風景は、幼い日々の数々のなつかしい思い出とともに大切に残しておきたいものだったのでしょう。

この作品を含めた塩原三部作は高い評価を受け、この後、巴水は「大正新版画運動」の中核を担う画家となっていきます。

本展では、巴水の愛した塩原や日光、佐久山、川西町（現大田原市）など栃木の風景を中心に、日本各地の風景画や人形画、美人画などを併せて紹介し、巴水の画業を概観していきます。

馬頭広重美術館

主任学芸員 長井裕子



川瀬巴水「塩原おかね路」

大正7年
（個人蔵）

【会 期】前期 9月16日(金)～10月16日(日)
後期 10月21日(金)～11月27日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

前期 9月17日(土)午後1時30分～当館学芸員

後期 10月22日(土)午後1時30分～当館学芸員

【記念講演会】

10月2日(日) 午後1時30分～

渡辺章一郎氏（渡辺木版美術画舗 代表取締役・開運！なんでも鑑定団 鑑定士）

演題：「日本近代版画の潮流と渡辺版画店」

【開館時間】午前9時30分～午後5時まで

（但し、入館は午後4時30分まで）

【入館料】 大人 700円（630円）

高・大学生 400円（360円）

※（ ）は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

ミニギャラリー 作品募集！

あなたの作品を出展してみませんか？

写真、絵画、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問い合わせ：
企画財政課広報広聴係

☎0287-92-1114

ミニギャラリー

～夏の風物詩～



小口納涼祭(8月13日)



鮎とマスのつかみどり(8月15日)